

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍大尉
葛川山 梶江 箱上 行山 大青 妹青 工谷 自宇 木岩 和久保田
原口縣山場 山拾方本 淵野 尾木 藤川 井田 村下
智源達哲國德太郎司衛雄郎三雄明信三式明一助澄郎泰寬豊光

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
岡福渥石塚岡高近都三河平日鮫野相一長井押名兼和正
林田美井本木藤間浦邊山笠島村澤一條村正
一稔信祐秀清正尚忠輝浩博信次知行正
夫之久郎造雄吾郎信彦郎男之一二正明夫雄孟廣

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

橋山田奥小島後橋重村畦高東秋樋椎石佐相西山
本縣邊田泉藤松上元見枝口塚森藤川田
敏隆正申次英莊康敏一俊二三俊三重清嘉正
男嗣道武平郎郎一弘一郎作任郎男夫郎輝逸馨治

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

木村近吉月石清日佐中松大宰三田森義藤植飯清
原山藤本形井水高藤村島沼務輪村田下川山瀬
龍武一正西和成忠乾茂稻勇誠利利長文
榮二慈男氣二衛康雄一雄三穀進志孝治進正平夫

海軍大尉

浦飯下日岡矢町山金安宮中田藤平谷佐徳鈴野林
田塚田向田ヶ部田本井部内原中原原口木納木田秀
正一嘉一芳忠次貞利一安幸滋弘政惇
海徳郎秀呂郎雄夫男則吉穂道雄清夫浩務宏夫

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
乘上大葛中後西須芦向高檣名板米山藤立原諸西野
田野塚城馬藤村藤野山橋原越倉田口田川田久恒郎
平忠禮正兼仁正正喜達之武怡惣助之助潔
雄弘郎彦四一直削一彰幸董忠義藏

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

松平 湯山 藤山 佐佐吉 松三福 新大栄 伊藤 中平 加賀
本澤 地邊 井本 藤久間 田尾 福田 井木 原島 山野
憲豊 雅良 重善 房敬 岩良 信幹 福三 武茂 純一
省治 惇惇 男美 久一 武一 宇吉 夫二 勝正 郎治 里男一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

佐々 渡酒 西東 岩飯 佐堀 武外 伸山 山射 著江 宮宮 鈴野
木邊 井村 元塚 藤政山 下中延 菜口 嶋坂 木阪
正春 一巖 正雅理 静三 齊文 修行 元森 尚雄 直通
也雄 清生 彥典 夫郎 徹夫 郎治 二明 雄信 政義 朗臣 夫

海軍機關大尉 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍大尉
安 宇 久 桑 雨 白 山 相 中 水 亀 天 山 益 庄 郷 山 時 吉 藤
永 都 木 田 保 田 岩 宮 井 口 良 山 野 由 野 本 山 司 田 枝 田 平
典 康 隆 辰 洋 澄 辰 孝 寛 正 康 泰 重 秀
稔 豊 明 正 康 興 宏 義 雄 臣 夫 夫 之 雄 正 見 夫 雄 良 穂 卓

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

田 田 小 鈴 壽 服 小 石 齊 山 坂 川 須 三 田 野 松 山 清 鯉 和
邊 村 林 木 圓 部 鈿 谷 藤 本 口 崎 藤 浦 中 田 本 元 氷 沼 田
常 增 平 八 部 增 哲 正 莞 和 慶 賴 秀 昌 照 次 佐 大 政 善 忠 鳥
雄 部 夫 己 爾 男 次 男 一 治 郎 次 佐 大 政 善 忠 鳥

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

廣織猪泉中油座江池内柿天山上平片濱筭森酒村
瀬田原田島井寺光口田元木春田村野岡口形山井治
省常三一三一忠忠彬策弘龍亮敏政敏健
二人夫清武郎好夫侃男郎三國嵐雄平雄從雄守一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

圓堀上平小在戶大磯山大玉山後鈴石收中岩花吉
田森川川塚次澤見下上井崎藤木井元田崎
禎近正徳喜保重茂尋幸農顯利盛茂榮
克陽雄巳松久雄憲等雄之男榮巖俊實三一高美司

海軍機関大尉
海軍軍醫大尉

清宮 喜徳 高海 杉井 長三 山高 杉木 甲子 櫛齊 岡田 伊藤
水崎 喜田 村生 村東 上洲 輪本 藤浦 良本 野浦 野田 島健芳
慎舜 正謙 行致 静光 正歲 喜歲 德信 禮清 一健 健次郎
一治 次三 雄道 男武郎 寛三 夫雄 弥爾 男作 治雄 一郎

福宇 加松 後田 渡小 中石 桑長 宮佐 高佐 山石 森小谷
佐田 夕見 美浦 藤原 邊森 村丸 原澤 入野 久藤 中田 鐵順
嘉春 勝瀬 勝嚴 敏成 優時 健鴻 辰芳 吉正義 太郎
明一 兔彦 誠平 也一 勝美 二雄 一雄 衡輝 夫明郎

(各通)

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

海軍公報(部内限)號外

原植石後辻谷渡茶古村藤堀大堤松平大鈴山佐森
 松垣藤道邊谷城上井田根木本松木木崎木本
 泰俊敏正達靜千亮雄眞千康玄弘正穏辰元邦重正
 夫彦夫美彦夫春一二士秋哉壽久二夫夫一男幸紀

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五一

大安佐高塩一勝新尾藤向笠伊藤加西工遠園近
 原矢間木木島ノ海崎本井松藤田藤田藤
 肇迪一大忠令尙三安文一喜久弘静吉一良
 郎雄彌吉敬儀志郎彦男秋彬猛三幸一雄始彦一

0558

海軍公報（部内限）號外

同 同 同 同 海軍藥劑大尉 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍軍醫大尉
鈴歌井山濱岡金井小加古吉木堀宇森井本橋
橋上岸野山崎上森藤川下三男村良榮正
鹿一康正敏三剛正裕達正清彦彥吉
匡典治治明郎三吉次光重爾雄三佐宏一晃彥清

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
海軍主計大尉
高青伊飯今大喜新松杉中谷中田井村松富横山
木木藤井大屋井永川瀬山邊上田嶋尾貞義善夫
信善昭三健泰力博隆次猛理
武勉昌一樹正美藏信宏次

五二

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

磯 永 淳 佐 鈴 野 輢 小 梶 杉 岩 谷 辻 安 川 堤 高 篠 大 横 山
 崎 田 野 藤 木 村 田 野 井 本 松 中 川 口 原 崎 塚 田 崎
 賢 秀 嶋 正 東 健 義 三 喜 慶 新 龍 英 竹 光 靖
 達 恒 澄 雄 夫 功 之 雄 一 實 明 忠 郎 好 一 三 雄 夫 松 四 夫

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

勝 金 板 村 久 柳 加 佐 富 三 古 大 神 菊 加 益 安 矢 滉 村 市
 又 尾 倉 田 世 潤 勢 藤 田 井 田 塚 谷 地 藤 田 東 島 田 上 川
 亮 正 俊 新 富 忠 正 康 一 正 庄 卓 太 郎 博 祐 俊 美 信 信 一 浩 之 助
 吉 信 雄 邑 也 男 雄 雄 次 郎 溫 善 一 次 二 鳴 显 義 一

海軍主計大尉 北脇 升本 喜徳郎 信夫

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 秋高田林佐刈深増猿金山白泉新藤中矢作松野升本喜徳郎 信夫
 山橋中久間谷井本渡子路石原山屋村山
 喜泰富德丈正篤重國光監甚幸勝賴光
 俊三郎彦治一典敬幸德秋一六茂男雄悅
 男六郎彦治一典敬幸德秋一六茂男雄悅

海軍造船大尉

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 小神松青吉近吉中岩武井穗八工安池藤小古日楢川幕正浩道
 平田島戸田藤川村崎藤上波鍛藤林川藤正行市
 清誠正歸兔武順昌芳崇四郎司正祐夫吉亨
 秀一義一郎泰三亮太郎之助正太郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍造機大尉

島 大 藤 高 相 池 貴 藤 垣 古 永 奥 小 濑 生 手 小 春 津
津 森 嶋 嶋 橋 澄 田 田 內 川 倉 杉 戸 田 球 木 田
矩 武 謙 武 勝 改 祐 誠 俊 貞 英 秀 源 谷 大 英 忠
久 英 豊 達 弘 孝 豊 造 平 三 一 充 樹 一 實 郎 男 一 夫 克

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

竹 飯 薮 谷 玉 鈴 石 川 波 長 秋 御 杉 古 小 貞 久 三 千 藤 淺
崎 田 山 井 木 川 煙 久 宗 所 山 屋 林 森 野 矢 村 澤 野
嘉 東 敏 義 早 米 一 讓 正 和 俊 精 二 幸 征 良
眞 清 三 夫 一 弘 潔 苗 兵 衛 雄 兴 吉 治 彥 勇 一 郎 篤 男 朗 一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍造機大尉
海軍造兵大尉

南 安 岡 安 石 久 廣 江 川 引 長 谷 藤 吉 熊 関 高 藤 大 藤 石 蟻 川
部 川 村 田 井 米 田 原 嶺 田 田 本 橋 井 屋 原
慶 敬 總 洋 正 庸 晴 起 敏 孝 元 健 正 健 勝 清 勝 親
一二 吾 一 己 孝 男 夫 美 納 三 一 二 樹 一 夫 光 宏 也 豊 治

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

山 秋 池 大 松 岡 遠 森 井 三 三 奥 田 浪 鈴 鳥 水 藤 館 永 口
本 山 永 木 本 田 藤 田 上 澤 宅 村 邊 木 滉 川 野 田 井 昌 万 楠 次 吉
嘉 正 雅 健 偷 五 昌 三 恒 泰 辰 達 博 崇 治 仁 元 惺 吉 司 郎
一 英 人 郎 平 潔 郎 治 勇 郎 夫 男 和 衛 郎 敏 治

0562

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

工 渡 菅 丸 山 重 藤 黒 謙 武 本 大 中 吉 三 村 杉
 藤 遺 原 熊 毛 嶋 松 平 川 訪 本 間 津 村 好 田 菅 中 川 上 山
 哲 文 成 平 治 太 國 恒 右 敏 安 倖 喜 英 和 勝 保 敏 靜 太
 二 雄 德 郎 夫 邦 信 近 定 三 一 輔 雄 清 氣 三 博 亘 男

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

下 田 黒 廣 酒 笹 井 灞 山 暈 濱 宮 重 二 河 奥 藤 石 宮 築 松
 村 川 谷 井 井 上 岡 口 道 田 見 一 良 愿 一 純 恒 俊 良
 幸 直 龍 高 成 一 良 愿 一 純 恒 俊 良
 濟 博 成 一 平 明 浩 忠 茂 郎 助 實 孝 夫 郎 平 雄 夫 嶽 正 英

海軍公報（部内限）號外

級正七位	海軍造兵大尉															
同 海軍工作特務中尉	海軍工作特務中尉															
同 海軍教授	海軍教授															
同 海軍技術師	海軍技術師															
相馬 紹宇 阿部 野紀 要公 稔一	茶村 又一	木村 後北山	加藤 泰義	高森 伸善	芝原 次郎	遠藤 博	堀川 喜宗	木村 宗吉	内藤 平喜	田中 文秋	山本 正吉	澤下 博善	田中 喜平	千葉 正文	若林 市夫	市川 文市
同 海軍書記	海軍書記	井上 精良	三宅 時勝	鹿子嶋 滉喜	橋勝 喜英	下喜良	木下千									
(各通)																
同 海軍兵曹長	海軍兵曹長															
梶谷 仁源 長薰	田島 太郎 七郎	木島 幸太郎														
	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

（各通）	級從七位	級從八位	同	海軍整備兵曹長	同	同	同	同	同	同	同
			同	海軍屬	同	同	同	同	同	同	同
			海軍齒科醫少尉	浅野 賴雄	大森 清藏	北村 满榮	寺崎 敏明	庄司 寿登	寺角 八十一	福井 敏明	寺登壽
			海軍技手	和田 日芳治	坪井 爲之助	矢谷 富尾	喜太郎	龍之助	同	同	同
				近藤 年	木 爲之助	木 爲之助	木 爲之助	同	同	同	同
					谷口 喜太郎	谷口 喜太郎	谷口 喜太郎	同	同	同	同

海軍公報

(部内限) 第四千百三十一號

昭和十七年七月二日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第四〇一四號

當分間左ノ通各人員ヲ臨時配置ス

昭和十六年官房第六三四〇號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年六月三十日

昭和十六年十二月八日(部内限)公報第一〇九二號

海軍大臣

看守長時看守時

横須賀海軍刑務所

佐世保海軍刑務所

舞鶴海軍刑務所

監

二

關係各廳長殿

大東亞戰役死歿者功績具申ニ關スル件通牒

(参照) 前記廢止官房號ハ各海軍刑務所ニ看守配置ノ件ナリ(昭和

十六年十二月八日(部内限)公報)

官房機密第八一八六號

本年達第百九十二號艦種變更命名ノ際舊艦種名ノ職名

海軍公報(部内限)第四千百三十一號

昭和十七年七月二日

七〇九

○通牒

官房第四〇六一號

昭和十七年七月一日

海軍次官

關係各廳長殿

大東亞戰役死歿者功績具申ニ關スル件通牒

大東亞戰役ニ關シ海軍ノ勤務ニ從事セル軍人軍屬ニシテ昭和十六年十二月八日以降死歿セル者ニ對シテハ海軍功績調査規程所定ノ如ク其ノ都度功績調査書類ヲ調製シ速ニ具申方勵行相成度追テ艦船覆沒等ノ事故ニ依リ功績書類ヲ亡失シタル

海軍公報（部内限）第四千百三十一號 昭和十七年七月二日

昭和十七年七月二日

七一〇

要
登
載官房機密第一二八〇號ノ一四
ハレ度

昭和十七年七月二日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關ス
ル例規中左記ノ通改メラレ候附錄 所在地區別符表（其ノ一）末尾ニ
記

ル オ ツ ト	キ ス カ	ウ 壹 壹 五
		ウ 壹 壹 六
		ウ 壹 壹 七
		ヲ 加 フ

第十 五 設 營	第 八 十 四 設 營	第 十 一 五 設 營
陸 軍 北 海 支 隊	ウ 壹 五 〇	ヲ 加 フ
第八十四警備隊	ウ 壹 五 〇	
三澤航空隊	ウ 壹 五 參	

附表中第十海軍軍用郵便所ノ項中「第五派出所 軍艦鹿島」「第十一派出所 タサイ」ヲ、第三十六海軍軍用郵便所ノ項「第一派出所 二三航戦司令部」ヲ削ル

軍務一機密第四三三號ノ二
昭和十七年七月二日
要
登
載

海軍省軍務局長

各廳長殿

郵便物ノ內容取締ニ關スル件申進

同 部隊區別符表（其ノ一）中「第二聯合特別陸戰隊 ツ壹參六」及「舞鎧第三特陸 ツ壹四貳」ヲ削リ

首題ノ件ニ關シテハ既ニ軍務一機密第四三三號申進ノ通ナル所其ノ後遞信當局ニテ調査シタルニ左記ノ如き事例有之從來此ノ種送達ヲ不適當ト認ムル郵便物ハ其ノ送達ヲ停止シ所轄長宛返戻セラレ居リタルガ場合ニ依リテハ軍機保護法或ハ海軍懲罰令ニ觸ルルコトナキ

0568

ヲ保シ難キヲ以テ一層嚴重取締相成度

記

○辭令

海軍中尉 戸田 幸男
驅逐艦長波審議委員ヲ免ス
(第六十一海軍艦政本部)

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ
(第六十一水路部長)
隊司令部員兼第四轄 橫井 鎮男

第一課勤務ヲ命ス
(第六十一海軍省軍需局)

○雜款

海軍大佐 三浦 速雄

一、檢閱済ノ表示アル郵便物ノ内容ニ機密事項ヲ記載セルモノアリ
一、發信人居所トシテ所屬艦船部隊ヲ記載セズ止宿先等ヲ記載セル郵便物中ニハ機密事項ノ記載セルモノ多シ
一、外見ハ純然タル私信ニシテ内容公務ニ亘リ然モ機密事項ヲ記載セルモノアリ
一、郵便物取扱ニ關スル例規ニ依ル區別符ト所在地部隊名ヲ併記セルモノアリ

一、艦隊入港時面會ノ爲來レル家族ノ通信中ニ海軍軍人ヨリ聞知シタリト認メラルル機密事項ヲ記載セルモノ多シ

一、郵便局宛ノ郵便物配布先通知又ハ行動豫定通知ヲ葉書ニテ爲ス所輔アリ

一、公文書ニシテ包装紙或ハ封筒ノ不良ノ爲内容露出シ機密漏泄ノ虞アルモノ多シ

一、公文書ニシテ通常郵便トシテ差立可能ナルニ拘ラズ紐ヲカケ小包便トシテ差出ス爲一般小包ト同様ニ取扱ハレ封筒破損シ内容露出スルモノアリ

○還納兵器取扱ニ關スル件照會
最近艦船部隊ヨリ當廠器材部馬公出張所(馬公ニハ補給工場ナク唯極ク少人數ノ係員ノミ派遣)ニ航空兵器ヲ還納陸揚又ハ輸送セラル向極メテ多キモ同地ハ施設、人員並ニ海上輸送ノ關係上當廠ヘノ轉送ハ極メテ困難ナル實情ニ有之候條爾今當地方ニ於テ艦船部隊還納ノ航空兵器ハ總テ高雄港ニ陸揚又ハ輸送ノコトニ取計相成度

(第六十一海軍航空廠)

海軍公報(部内限)第四千百三十一號 昭和十七年七月二日

七一一

海軍公報（部内限）第四千百三十一號 昭和十七年七月二日

七二二

○殘務整理
第三十二航空隊殘務整理ハ第二十一航空隊ニ於テ行フ
(第三十二特別根據地隊)

○訂正
四月二十八日辭令欄中海軍主計大尉矢野泰男ノ辭令月
日「四月五日」ヲ「一月二十五日」ニ訂正ス

○正誤
四月十五日辭令欄三七三頁上段十四行目「第三南遣艦
隊」ハ「第二南遣艦隊」ノ誤
六月二十日通牒欄官房機密第一二八〇號ノ「三〔其ノ
一〕中」ノ下ニ「第三特別根據地隊 ウ四七」ヲ「第
四十三警備隊 ウ四七」ニ改メヲ脱ス
「同〔其ノ二〕」ハ「同〔其ノ三〕」ノ誤
同〔其ノ四〕中「第三特別根據地隊 ウ四七」ヲ「第
四十三警備隊 ウ四七」ニ改メヲ削ル

海軍公報(部内限)第四千百三十二號

昭和十七年七月三日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第四〇六三號

當分ノ間本邦又ハ關東州ト海軍戰時特例給與規則第一條ニ定ムル地域トノ間及同規則第一條ニ定ムル地域相

互間並ニ同地域内各地間ヲ旅行スル海軍軍人軍屬及工員ニ支給スル旅費ハ昭和十四年官房第三八九四號ニ依

ル場合ノ外到著廳(出張旅行ノ場合ヲ除ク)ニ於テ之ガ精算ヲ爲スニトヲ得

前金拂ヲ受ケタル者赴任スベキ艦船部隊移動ノ爲海軍

戰時特例給與規則第一條ニ定ムル地域ニ追尾旅行ヲ爲

シタル場合ニ於ケル旅費ノ精算ニ付又前項ニ同シ

前二項ノ場合ニ於ケル旅費ヲ概算拂、精算、追給及追

徵ノ手續ニ關シテハ海軍省經理局長ノ定ムル所ニ依ル

本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令施行前ノ旅行ニシテ本令施行後旅費ノ精算ヲ爲ス場合ニ

ハ本令ニ依ルコトヲ得

昭和十七年七月三日

○通牒

經賞第二〇〇號ノ九

昭和十七年六月二十六日

海軍省經理局
賜金國庫債券取扱官吏

各所轄長殿

支那事變賜金國庫債券再交付ニ關スル
件照會

海軍各廳(艦團部隊ヲ含ム)勳務者ノ賜金ニシテ賜金交付前(交付後)不可抗力(艦船遭難其ノ他ノ事故)
ニ因リ賜金國庫債券ヲ紛失(毀損)セル場合賜金國庫債券ノ再交付ヲ受ケントルキハ別紙書式ニ依リ調製海軍省經理局賜金國庫債券取扱官吏宛送付相成度

海軍公報（部内限）第四千三百三十二號 昭和十七年七月二日

昭和十七年七月三日

七二四

追元賜金交付後受給者戰死ニ依リ賜金國庫債券紛失ノ有無不明ナル場合ハ遺族ニ問合セ紛失ヲ確認ノ上送付ノ事ニ取計相成度（別紙書式添）

經給第一〇八號
昭和十七年七月二日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

旅費精算ノ特例ニ關スル件通牒

本年官房第四〇六三號ヲ以テ旅費精算ノ特例ノ件令達セラレ候處本件實施ニ當リテハ左記ニ依ル義ト承知相成度

記

一 概算拂、精算、追給及追徵並ニ之ガ計算證明ニ關シテハ昭和十四年經給第六六號赴任（轉勤）旅行ノ項中（一）（二）、（四）及出張旅行ノ項ヲ準用ス
二 同官房第四〇六三號第二項ニ該當スル場合ハ舊勤務廳ヨリ海軍戰時特例給與規則第一條ノ地域ニ旅行スルモノトシテ後廳ニ於テ精算ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ舊勤務廳ニ於テ爲シタル前金拂ニ付テ

年額參千四百圓ヲ給ス	海軍司政官	大畑 文七
（各通）	同	眞室 亞夫
年額參千五拾圓ヲ給ス	同	八木 芳信
年額貳千七百七拾圓ヲ給ス	江口 見登留	石橋 豊徳
年額貳千五百五拾圓ヲ給ス	同	湯川 盛夫
年額千六百五拾圓ヲ給ス（以上 ^{五百圓} ）	久保田 義廣	

○辭令

(各通)	海軍司政官 安井 久	引野 通夫
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	同 同 同	高橋 常道
(各通)	神田 坪六	渡部 譲作
年額貳千五百拾圓ヲ給ス	同 同 同	今井田 研二郎
(各通)	藤原 重正	森 茂雄
年額千八百貳拾圓ヲ給ス	同 同 同	岩田 友三郎
(各通)	百田 正弘	出井 北郎
年額千六百五拾圓ヲ給ス	石澤 守雄	河合 宗治
(各通)	養老 紹介	森 治樹
年額四千五拾圓ヲ給ス	福井 淳	三戸 文男
(各通)	平田 左武郎	岡崎 七郎
年額參千五拾圓ヲ給ス	大島 金光	大澤 融
(各通)	小坂 忠一	今井 葵文
年額參千五拾圓ヲ給ス	矢賀部 猶介	大貫 和一
(各通)	梅原 達也	民堂
年額貳千七百七拾圓ヲ給ス	海軍司政官	海軍技師
(各通)	同 同 同	同 同 同
年額貳千四百貳拾圓ヲ給ス	海軍司政官	海軍技師
(各通)	同 同 同	同 同 同
柿島 今井 大貫 梅原	大澤 融 葵文 民堂	岡崎 七郎

海軍公報(部内限)第四千百三十二號

昭和十七年七月三日

七二六

年額貳千五百五拾圓ヲ給ス

海軍司政官濱田正
同澤田悌
海軍技師近藤市三郎(各通)
海軍司政官武藤勝恵
同安田三郎
海軍技師伊藤美代治
年額千八百貳拾圓ヲ給ス
海軍司政官小澤顯夫
同高野佐助
(各通)眞木英男
同塚本五郎
海軍技師小林嘉道
同西山義雄
唐澤進
年額千參百圓ヲ給ス(以上^{正誤}同)(各通)
海軍監理官ヲ命ス(以上^{正誤}同)
東京監査官ヲ命ス
第二課勤務ヲ免シ第一課附ヲ命ス
第二課勤務ヲ命ス(以上^{正誤}同)
海軍中佐鈴木榮二郎
○雜款
○事務所撤去
第二十一號掃海艇艦艤員事務所ハ六月三十日撤去セリ
○正誤(海)
六月十三日雜款櫛郵便物發送先中「(第十五設營隊)」
ハ「(第十三設營隊)」ノ誤
六月三十日海軍公報部内限號外人祕第五號ノ五追書二
中「昭和十五年人祕第四號ノ二」ハ「昭和十五年人祕
第四號ノ二」ノ誤

別紙書式

昭和 年 月 日

所轄 團長 團

(昭和十七年七月三日海軍公報(部内限))

海軍省經理局賜金國庫債券取扱官吏宛

支那事變賜金國庫債券再交付ニ關スル件照會

左記ノ者ニ對スル賜金國庫債券交付前(交付済ノ處)事故ノ爲紛失(毀損)致候條再交付方取計相成度

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
回發 數表	賜 金額 記載 番號 令書	賜 金 額	內額 面別 譯別	債 券 番 號	官 等 氏 名	兵 籍 報 番 號及

備考

- 一 (1)(2)(6)(7)ノ欄ハ必ズ記入サレタシ
- 二 (6)ノ欄官等ハ發表當時ノ官等ヲ記入サレタシ
- 三 戰死セル場合ハ遺族ノ住所、相續人氏名符縲添付サレタシ

0574

海軍公報

(部内限) 第四千百三十三號

昭和十七年七月四日(主)

海軍大臣官房

○令達

官房機密第八一九六號

本年七月一日現在舞鶴鎮守府第三特別陸戰隊ノ職名ヲ
有スル者ハ特ニ發令セラルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒ
ズシテ第五警備隊ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト
心得ベシ

昭和十七年七月一日

海軍大臣

(参照) 昭和十六年官房機密第一一四三七號ハ特設設營班ニ要スル
機械、器具及材料ノ供給及整理ニ關スル件ナリ
(機密會計法規類集二五頁)

官房第四一〇五號

昭和十三年勅令第五百六十六號又ハ海軍武官任用令第
二十八條ノ規定ニ依リ海軍造船科、造機科及造兵科士
官ヲ採用ス

之ガ取扱ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年七月四日

海軍大臣

一現ニ造船、造機又ハ造兵ノ業務ニ從事シ左ノ各號
ノニ該當スル海軍技師、技手又ハ嘱託ニシテ海軍

造船科、造機科又ハ造兵科士官タランコトヲ志願ス
ル者ハ昭和十七年八月一日迄ニ別紙様式ニ依ル願書
ニ履歷書ヲ添ヘ順序ヲ經テ海軍大臣ニ願出ヅベシ
(一) 大學令ニ依ル大學ノ工學部又ハ理學部ニ於テ學
課ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者(嘱託ハ昭和
十七年八月一日ニ於テ年齢滿三十年以下ノモノ)

官房機密第八三四六號
昭和十六年官房機密第一一四三七號中左ノ通改正ス
昭和十七年七月四日

海軍大臣

第一號供給擔任區分中「第十一設營隊」ヲ「第十一、
第十五設營隊」ニ改ム

附則
本令ハ昭和十七年六月十五日ヨリ之ヲ適用ス

海軍公報(部内限) 第四千百三十三號

昭和十七年七月四日

七一七

海軍公報(部内限)第四千百三十三號

昭和十七年七月四日

七一八

(二)

専門學校令ニ依ル専門學校又ハ之ト同等以上ノ
學校ニ於テ造船科、造機科又ハ造兵科ノ士官ニ必

要ナル學課ヲ修メ卒業シタル者(嘱託ハ昭和十七

年八月一日ニ於テ年齢滿二十七年以下ノモノ)

二 所轄長ハ前項志願者ニ就キ別紙様式ニ依ル所見表
(ヲ調製シ八月五日迄ニ順序ヲ經テ之ヲ海軍省人事局

長ニ送付スベシ

三 採用試験ハ之ヲ實施セズ

(別紙)

願書式共ノ一(用紙美濃白紙)

本籍

年 月 日 職位勳 氏 名 ⑩

現住所

海軍大臣宛

海軍造兵科士官任用願

私儀海軍武官任用令第二十八條ノ規定ニ依ル海軍造兵

科士官志願ニ付任用相成度

(履歴書添)

(終)

願書式共ノ二(用紙美濃白紙)

本籍

(別紙一葉添)

私儀昭和十三年勅令第五百六十六號ニ依ル海軍造兵科
士官志願ニ付任用相成度

(履歴書添)

右

名 ⑩

一 修學及卒業シタル學校名(中等學校以上)並ニ其
ノ年月日

二 海軍文官、嘱託又ハ工員トシテノ經歷
右ノ通相違ナシ

年 月 日

戸主又ハ戸主トノ續柄

氏

名

何年何月何日生

履歴書式(用紙美濃白紙)

履歴書

書

(終)

別紙(用紙適宜)

(昭和十七年七月四日海軍公報(部内限))

所見表

見所般一 昭和年月日 所轄長職官氏 名	績成査檢體身 行性 能技 務勤	元身 海軍武官トシテノ服役又ハ其ノ他ノ兵役關係 (武官トシテ陸軍ノ兵籍ニ在ルモノハ任用セズ) 一、武官トシテノ現官階 二、武官任用又ハ見習尉官(候補生)採用年月日 三、豫備役編入年月日 四、其ノ他ノ兵役關係	要概況狀庭家	序順拔選	別部轄所		
					級俸	現官(職)	氏名
成績	卒業年次	出身學校	月生年	日			
			又ハ第三號ニ該當ノ有無	海軍武官任用令第三條第二號			

○通牒

海人第一〇號ノ九四

昭和十七年七月三日

海軍省人事局

部内各廳御申

現役海軍特務士官及准士官名簿電報符號
使用期日ノ件通知昭和十六年十二月一日調現役海軍特務士官及准士官名
簿ノ電報符號使用開始期日ヲ七月十日ト定メラレ候

海人機密第七八號

昭和十七年七月三日

海軍省軍務局長
海軍省人事局長

各廳長殿

戦死、戦傷病者ノ遺家族ニ對スル私的
通知等ニ關スル件照會戦死、戦傷病者ノ遺家族ニ對スル私的
通知等ニ關スル件照會

ノ詳細ヲ所轄ヨリ直接ニ或ハ部内者ヨリ私ニ通知スル
向有之機密保持上及遺家族ニ對スル關係上種々不都合
ヲ生ジ誠ニ遺憾ナル次第ニ付人情ノ上ヨリ甚ダ忍ビ難
キ感ナキニ非ザルモ自今海軍省人事局長又ハ海軍人事
部長ヨリ通知スルモノノ外遺家族ニ對スル通知ハ之ヲ
爲ザザル様示達相成度
追テ所轄ニ於テ特ニ通知ヲ必要ト認メラルル場合ハ
豫メ海軍省人事局又ハ海軍人事部ニ連絡相成度

○辭令

氣象技手 具志堅與富

海南警備府附ヲ免シ第二氣象隊附ヲ命ス(海軍省)

第一課勤務ヲ命ス(海軍省教育局)
海軍中佐 角田 光揚五月十八月官房機密第六〇六六號假稱二式特殊通信
裝置實驗委員長ヲ命ス海軍少將 佐々木 清恭(拔研)
海軍大佐 溝口 征(東通)申進ノ通總ヲ海軍省人事局長又ハ海軍人事部長ニ於テ
之ヲ爲スコトニ定メラレアル處往々ニシテ戦死傷病等

海軍公報(部内限)第四千百三十三號

昭和十七年七月四日

七一九

海軍公報（部内限）第四千百三十三號 昭和十七年七月四日

七二〇

海軍機關大佐 石松 裕雄（技研）
海軍中佐 橋本 宙二（艦本）

北川 金光（同）
石原 宇市（兵備）

井上 士郎（教育）
六右衛門（軍務）

同 長井 弘介（軍令）
矢島 彌太郎（吳廠）

（各通）

海軍造兵中佐 同
海軍少佐 同
海軍大尉 同
海軍技術 田邊 一雄（技研）
諸澤 忠治（艦本）
吉田 五郎（技研）
五月十八日官房機密第六〇六六號假稱二式特殊通信裝置實驗委員ヲ命ス

園田 又雄（橫廠）
萩原 未年夫（橫廠）
新宮 等（聯合）
千木木十三四（艦本）

大崎町 愛知縣豊橋市大崎町

海軍施設事務所

（豊橋海軍航空隊（假稱）
設立準備委員事務所）

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

第五艦隊所屬艦船 橫須賀郵便局氣付
(第五艦隊)

○雜款

○丙種飛行豫科練習生ニ關スル件
丙種飛行豫科練習生ハ本年達第六十四號ニ依リ海軍練習航空隊規則第二十九條第四項採用豫定者ヲ採用者ト改メラレタルニ誤レルモノ多キニ付注意相成度尙本練習生ハ在隊期間極メテ短期間ナルニ從來履歴、考課調査表並ニ給與通牒等卒業迄ニ到着セザルモノ多ク事務ニ支障ヲ來ス事屢々ナルニ就キ前記書類ハ必ず本人ニ持參セシマラレ度

追テ入隊ハ鹿屋海軍航空隊内土浦海軍航空隊鹿屋派遣隊ナルモ給與通牒ノ宛名ハ土浦海軍航空隊主計長ニ付念爲（土浦海軍航空隊鹿屋派遣隊指揮官）

五月十八日官房機密第六〇六六號假稱二式特殊通信裝置實驗委員附ヲ命ス（以上四月廿九日海軍艦政本部）

0580

○事務開始
榆林地方運輸部海口出張所ヲ七月一日海南軍需部海口供給所内ニ設置事務ヲ開始セリ

○殘務整理
第六十六驅潜艇隊殘務整理ハ父島方面特別根據地隊内ニ於チ之ヲ行フ
(興義丸司令部殘務整理員)

○事務所撤去
第五號掃海特務艇艦裝具事務所又六月三十日撤去セリ

○訂正
昨三日令達欄官房第四〇六三號月日「七月一日」ヲ「七月一日」ニ訂正ス

0581

海軍公報

(部内限) 第四千百三十四號

昭和十七年七月六日(月)

海軍大臣官房

海軍諸
則登

則例

○令達

關係各廳長殿

新設航空隊名ノ新聞紙等掲載ニ關スル件
申進

官房第四一二二號
當分ノ間新兵ノ入團(隊)ニ際シ入團(隊)期日以外
ニ參着日ヲ定ムル要アル場合ハ入團(隊)期日ノ前七

日以内、後三日以内ニ於テ(徵兵ニ在リテハ當該聯隊
區司令部ト協議シ)鎮守府司令長官之ヲ定ムルコトヲ
得

入團(隊)期日前參着ノ者ニ對シテハ海兵團又ハ航空
隊内ニ起臥セシメ糧食ヲ給スルコトヲ得

昭和十七年七月六日

海軍大臣

○通牒

軍務一機密第五〇七號

昭和十七年七月六日

海軍省軍務局長

横須賀海軍航空隊	大分海軍航空隊
横濱海軍航空隊	宇佐海軍航空隊
館山海軍航空隊	大湊海軍航空隊
木更津海軍航空隊	吳海軍航空隊
鈴鹿海軍航空隊	岩國海軍航空隊
霞ヶ浦海軍航空隊	舞鶴海軍航空隊
筑波海軍航空隊	佐世保海軍航空隊
鹿島海軍航空隊	大村海軍航空隊
谷田部海軍航空隊	鎮海海軍航空隊
百里原海軍航空隊	屋海海軍航空隊

首題ノ件自今當分ノ間練習航空隊ト雖一切新聞紙等ニ
掲載セシメザルコトニ定メラレ候
追テ既ニ發表済ニシテ新聞紙等ニ掲載シ支障ナキ航
空隊名左記ノ通ニ有之候

記

海軍公報(部内限) 第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

七三三

海軍公報(部内報)第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

七二四

○辭令
 佐伯海軍航空隊 博多海軍航空隊 土浦海軍航空隊

(各通)

濱堀加	島田横	栗川白	川原隆
岡田藤	田村岡	山則	義隆
泰	中太謹	隆	
夫浩繁	忠順		
	健一		
	正正		

海軍造船學生ヲ命ス

松大松	森出森	佐馬鈴	原下櫛	野竹	関伸	早川	阿部合	中島
田森本	本原倉	場木	村引	崎内	田原	三村	三郎	幹恭
和英正	道泰	謙	晋	道	憲	庄三	哲	英登
雄慎一	道英	次郎	三郎	道	寛	三		
雄孝昭	道久	彦郎	彦郎	道	三			
久郎	雄	泰彦	泰彦	道				
				司				

海軍公報(部内限)第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

塚守	栗原	今成	中村	赤星	藤嶋	志村	門吉
木下	中村	田山	田山	渡邊	渡邊	山原	原西
正克	栗原	弘裕	志村	岩部	岩部	志村	門脇
文登	成田	作五郎	兒中	渡邊	渡邊	中村	理武
				指置	指置		二泰
				兼左久	兼左久		
				瑞穂	瑞穂		
				均	均		

塚守	明長	秋北	藤依	野山	矢齊	神遠	相高
木下	眞家	高室	條橋	山村	井本	藤山	竹生
正克	石崇	越	間田	村井	本井	山	元彦
文登	讓光		忠哲	本村	井本	和雄	加賀山
	一寛		哲司	村井	井本	洪一	
	雄修		宰三	忠周	忠周	雄正	
	邦朝		夫進	克士	士		
	三郎						
	夫郎						
	士郎						

海軍公報（部内限）第四千百三十四號 昭和十七年七月六日

七二六

（各通）

宇田川 桂男	尾高 昌
平松 一	阪口 一
細越 赫二郎	中原 昌
中藤 愛	柳澤
生馬 原	澤澤
中藤 元	知親
森島 駒	船儀
廣島 尾	秀義
園光 駒	克已
目黑 原	裕徹
秦一 慶	正司
工藤 敬	正郎
内藤 謙	英一郎
田藤 敬	重一郎
藤謙	三彌
藤義	正郎
藤義	正郎
藤重	正郎

鈴木 宏	小出 順
栗原 幸	須田 平
伊藤 勝	田壽
多賀谷 太郎	原友
植村 北	成壽
吉田 村	月也
古山 峰	崎
手島 岳	成
吉山 峰	和
江島 峰	三
山宮 峰	和
香宮 峰	三
江山 峰	也
植宮 峰	也
村原 峰	也
吉原 峰	也
原本 峰	也
宮成 峰	也
小倉 峰	也
小原 峰	也
宮成 峰	也
成壽 夫	也
壽也 夫	也

海軍造兵學生ヲ命ス

(各通)

海軍造船生徒ヲ命ス

海軍造機生徒ヲ命ス

(各通)

山高
西田邦彦
佐藤貞吉
八東茂

石田政雄
眞竹利男
長谷川良三
橋本裕起

石塚眞一
加藤勝人
田邊井
江口
水沼
三輪國
田中博昭
池野祥太郎
平尾準治

(各通)

中島喜代彦
高木信夫
松尾主
山田茂
石垣重税
鈴木貢
圓田安民
才野光治
楢垣安夫
西堀治
小坂生彦
北島英雄
小林哲雄
木島一雄
新井時雄
田嶋久
林島一
木島一
阪部一
新隆博
幹時
新造俊
吉雄一
清雄一
茂潔一
清茂一
治一
一

辻村 勇夫
衣川 力
高畠 量平
南里 郁郎

木村 正己
秦 庄司

廣瀬 信義
鹿子嶋 司寛
菅沼 義質

大膳 哲二
種市 鴻二郎

長崎 作治
淺川 繁

齊藤 築一
内橋 猛

海軍造兵生徒ヲ命ス（以上^{前回}海軍省）

海軍少佐 松本 作次

第一課勤務ヲ命ス（^{第三回}海軍省軍務局）

海軍主計中佐 岩田 吉雄

第五課勤務ヲ命ス（^{七八回}海軍省經理局）

(限 内 部)

海軍公報(部内限)第四千百三十五號 海軍大臣官房

昭和十七年七月七日(火)

○令達

兵備二機密第五七一號
昭和十七年七月六日

官房第四一五八號

關係各處長股 關係各處長股

海軍省兵備局長 海軍省兵備局長

艦船部隊其ノ他各部ニ於テ左記ノ者ニ對シ謝金贈與ノ必要アルトキハ金百圓以内ノ金額ニ限リ豫算上支出官

ノ承認ヲ得テ決行スルコトヲ得

一、官有物拾得者

二、艦船遭難、航空機不時着水陸其ノ他事故アリタル場合之ガ救援作業ニ從事セシ者

三、敵ノ潜水艦、航空機其ノ他ノ艦艇等ニ關シ價值アル情報ヲ提供シタル者

昭和四年官房第二五〇二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十七年七月七日

海軍大臣

(参照)官房第二五〇二號ハ官有物拾得者等ニ謝金贈與ニ關スル件
(ナリ)會計法規類集一卷二六六頁)

○通牒

○感狀

海軍公報(部内限)第四千百三十五號

昭和十七年七月七日

七二九

- 一、珊瑚鐵器製品
但シ硼砂、硼酸ノ配合ナキモノハ此ノ限ニ在ラズ
二、硝子製品(硼砂、硼酸ノ配合アルモノ)
但シ特殊用途ノモノヲ除ク
三、直接軍需用以外ノ熔接劑
四、其ノ他軍需ニ直接關係ナキ雜製品

0587

布哇海戰參加部隊

昭和十六年十二月八日開戦劈頭長驅敵布哇軍港ヲ奇襲シ其ノ飛行機隊ヲ以テ敵米國太平洋艦隊主力及所在航空兵力ヲ猛撃シテ忽其ノ大部ヲ擊滅シタルハ爾後ノ作戦ニ寄與スル所極メテ大ニシテ其ノ武勳顯著ナリト認ム
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十七年四月十五日

聯合艦隊司令長官 山本 五十六

○辭令

山内 豊陽

徵用中年額貳千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(二月海軍省)

安藤 正一

徵用中年額四百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
(二月同)

井上 豊
事務員 志水 洋

通信書記補 竹永 俊夫

松崎 勝好
集配員 山口 秋好

第二海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

貳千貳百六拾八圓
中尉從七位
海軍豫備機關

松尾 信次

(各) 貳千五拾貳圓
千九百四拾四圓
千四百四拾圓
千貳百九拾六圓
千百四圓
(十六月同)
千百四圓
(十六月同)
千百四圓
海軍豫備一等兵曹
梅垣 正身
稻留 邦孝
松崎 勝好
竹永 俊夫
岡部 虎之助
中尉從七位
海軍豫備機關
海軍豫備機
關兵曹長
宮本 鐵郎
武井 重太郎
吉村 哲次
鐵郎
哲次

0588

第三十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス(以上七月同)
第三十三潜水艦ハ六月五日司令潜水艦ヲ呂號第六十三

○司令潜水艦變更
第三十三潛水艦ハ六月五日司令潛水艦ヲ呂號第六十三
潛水艦ニ變更セリ

第二課勤務ヲ命ス(以上七月同)
第二十二航空戰隊司(海軍省人事局) 小室公夫
海軍中佐 岡村於菟彦
令部附海軍主計中尉

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
七月九日以降 橫須賀郵便局經由
ウ壹〇五 ウ壹〇九氣付(軍事郵便)

艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上七月同)
省經理局長
海軍主計大尉 田中義夫
海軍支官小林寛一

○司令、軍醫長宛
第二十五海軍軍用郵便所氣付
機關長、主計長宛
(軍艦島)

第一百一海軍燃料廠第四作業部ニ要スル給與及其ノ他
ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

○吳郵便局經由
第七月九日以降 橫須賀郵便局經由
ウ壹〇五 ウ壹〇九氣付(軍事郵便)

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上七月同)
海軍大佐 倉田七郎
同

○司令、軍醫長宛
第二十六驅逐隊
(軍艦島)

日章丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經
費臨時分任出納官吏ヲ命ス

○司令、軍醫長宛
第二十六驅逐隊
(軍艦島)

三澤海軍航空隊殘留隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費
支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上請
同)

○事務開始
第一百六航空廠ルオツト分工場ハ七月一日事務ヲ開始セ
リ
追テ郵便物發送先ハ
横須賀郵便局氣付 ウ九壹 ウ壹貳六 ウ五八

○雜款

○殘務整理
舊第六設營殘務整理ハ第一百三海軍建築部タバオ支部

海軍公報(部内限)第四千百三十五號 昭和十七年七月七日

七三一

内ニ於テ之ヲ行フ
追テ郵便物發送先ハ
佐世保郵便局氣付
(第百三海軍建築部)
テ四參 テ參壹 テ參〇

0590

海軍公報

(部内限) 第四千百三十六號

昭和十七年七月八日(水)

海軍大臣官房

シタル者ノ人事取扱及給與ニ關シテハ昭和十六年官房
機密第四九五七號第二號、第十三號及第十四號ノ規定
ヲ準用ス

○令達

官房第四〇〇一號ノ二

昭和十七年六月三十日

海軍大臣

船舶海難事故處理委員會委員長殿

○通牒

昭和十七年七月八日

海軍大臣

貴官ハ委員ヲ督シ徵傭船舶相互又ハ徵傭船舶ト一般民間船舶トノ事故ヲ究明シ其ノ責任ヲ判定シ損害賠償問題等ニ關聯スル資料ノ調整ニ任ズベシ

官房機密第八五〇四號
左ノ各號ニ對スル臨時海軍規格ヲ別紙ノ通定シ
別紙ハ海軍艦政本部ニ於テ所要ノ向ニ之ヲ配付ス

官房機密第八五〇四號

大東亜戰爭ニ際シ鎮守府司令長官ハ飛行特技部隊入飛行特技ノ配置ニ在ルモノノ缺員補充上已ムヲ得ザルトキハ飛行特技者又ハ飛行特技兵ニ非ザル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得此ノ場合配員先所轄長ハ必要ニ應ジ特技訓練ヲ實施スルモノトス

前項ニ依リ飛行特技訓練ニ從事スル者及同訓練ヲ終了
海軍公報(部内限) 第四千百三十六號 昭和十七年七月八日

海軍次官

一 壓練ペイント試験方法
二 壓練亞鉛華
三 壓練黃鉛
四 壓練紺青
五 壓練酸化鐵粉

0591

- 六 塗練黒
七 塗練リトボン
八 塗練チタン亜鉛白
九 油ワニス及同試験方法

- 十 塗料用粘度試験方法
十一 トリクレン(トリクロールエチレン)
十二 特用毒性ソーダ

- 十三 塗練緑

- 十四 塗練リトボン亜鉛華

- 十五 塗料用黄色有機顔料

- 十六 塗料用青色有機顔料

- 十七 カババイタ

- 十八 罐用空氣豫熱管

- 十九 メートル細目ねぢ第一號ノ寸法差及公差

- 二十 ウィットウォース細目ねぢ第二號ノ寸法差及

- 公差

- 二十一 ウィットウォース細目ねぢ第三號ノ寸法差及

- 公差

- 二十二 ねぢ限界ゲージ方式(メートルねぢ第一號)

- 二十三 ねぢ限界ゲージ方式(ウィットウォースねぢ第一號)

二十四 ねぢ限界ゲージ方式(メートル細目ねぢ第一號)

二十五 ねぢ限界ゲージ方式(ウィットウォース細目ねぢ第二號)

二十六 ねぢ限界ゲージ方式(ウィットウォース細目ねぢ第三號)

二十七 ねぢ限界ゲージ

兵備四機密第二三五號

昭和十七年六月二十九日

海軍省兵備局長

各鎮守府 參謀長殿

住宅營團等建築家屋借用ニ關スル件通牒

首題ノ件別紙ノ通り決裁相成候條可然取計相成度
追而本件ハ分譲式住宅ヲ除キ府縣市町村營等ノ建築

家屋ヲ含ム義ニ有之

(別紙) 官房機密第八〇八四號

昭和十七年六月二十九日決裁

住宅營團等建築家屋一部借用ニ關スル件

0592

仰裁

本年官房機密第一八九〇號決裁ニ依ル徵用期間ノ延長
ニ際シ別紙理由ノ通海軍作業廳ノ作業ヲ一層昂揚發揮
セシムル爲所屬要員ノ居住ヲ安定シ且住宅難緩和ノ應
急對策トシテ財團法人住宅營團等ニ於テ豫ヲ建築ニ係
ル海軍要員用ノ家屋ヲ海軍ニ於テ借用シ左ノ條件ヲ以
テ居住セシムルコトニ取計ヒ可然哉

記
一 居住條件

(一) 範 囲

父母妻子ト別居中ノ被徵用者ニシテ徵用期間ヲ延
長セラレ父母妻子ヲ作業廳所在地ニ移轉セントス
ル者ノ内所屬廳長ニ於テ適當ト認ムル者但シ主ト
シテ新規徵用ノ妻帶者トス

(二) 家屋使用料

居住者ノ負擔スル家屋使用料ハ家賃ノ六割(十錢
未滿ハ十錢ニ繰上グ)トシ家屋所有者ニ支拂ハシ

(三) 居住者ノ責任

家屋ノ日常ノ保存手入ハ居住者ノ義務トシ修理費
ハ家屋所有者ノ負擔トス天災又ハ不可抗力ニ依ル

滅失毀損ハ居住者ノ責任トセズ

二 統 輄

鎮守府(警備府) 司令長官ハ部下作業廳ニ對スル住
宅戸數ノ配分及居住者ノ順位ヲ定ムルモノトス

三 經費支辨科目

(一) 工 作 廉 附屬費(整理符號一一〇)
ロ 火薬廠及燃料廠 作業費、雜給及雜費、雜件費
ハ 建 築 部 臨時軍事費、營繕費、作場費
(二) 港 務 部 臨時軍事費、軍港要港費、浚
渫費

(ホ) 軍 需 部 臨時軍事費、艦營費、保管運
搬費
臨時軍事費、造船造兵及修理
費、雜費
臨時軍事費、衣糧費、雜費

(別紙略)

○辭 令

(各通)

海軍豫備學生 井口 進八郎
同 橋 松浦 三郎

臨時聯合艦隊司令部 派遣ヲ命シ置キタル處之ヲ免

シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス

海軍豫備學生 竹永一雄

臨時第一南遣艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之

ヲ免シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス

海軍豫備學生 河崎繁雄

臨時第二南遣艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之

ヲ免シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス

（各通） 同 海軍豫備學生 佐藤行夫

（各通） 同 烏田英男

（各通） 同 小林憲二

臨時第三南遣艦隊司令部ニ派遣ヲ命シ置キタル處之

ヲ免シ臨時第三氣象隊ニ派遣ヲ命ス（以上六明海軍

省）

○ 雜款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付 ウ壹〇五 ウ壹參四
(臺南海軍航空隊)

軍事郵便物 横須賀郵便局經由
ウ五〇 ウ四四氣付
○書類發送先
當隊朝潮、荒潮當分ノ間分離行動ニ付關係書類ハ各艦
宛送付ヲ得度

（第三號敷設艇）
第八驅逐隊

○事務所撤去
驅逐艦長波艦裝員事務所ヲ六月三十日撤去セリ
第三號敷設艇艦裝員事務所ヲ六月三十日撤去セリ

○正誤
昨七月令達欄官房第四一五八號中宜有物拾得者ノ前ニ
「記」ヲ脱ス

海軍公報

(部内限) 第四千百三十七號

昭和十七年七月九日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第四一八四號

當分ノ間本溪湖海軍監督官事務所ノ經費ハ在滿洲國帝

國大使館附武官ヲ資金前渡官吏トス

本令ハ昭和十七年七月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年七月八日

海軍大臣

官房第三八六二號ノ二

雜役船ノ供用先ヲ左ノ通變更ス

昭和十七年七月九日

海軍大臣

船種

船名

舊所屬

新所屬

別定數

記事

曳船兼交通船
(四百三十噸)

海清

佐世保海軍

工作部用筆

工筆

佐世保海軍

支那方面部用艦隊

附屬

臨時

記事

官房機密第八五五〇號

要登載

艦船乗組ノ艦營備人ニシテ當該艦沈沒其ノ他ノ事由
所轄ナキニ至リタル場合ハ當分ノ間雇員備人規
則第三條別表ノ定限ニ拘ラズ一時所管鎮守府海兵團ノ
定員外備人トシテ轉備スルコトヲ得

昭和十七年七月九日

昭和十七年七月九日

官房機密第八五五〇號

要登載

大東亞戰爭中出征スル艦船部隊ノ下士官及兵ノ被服物
品還納其ノ他ニ關シ左ノ通定ム

昭和十七年七月九日

昭和十七年七月九日

官房機密第八五五〇號

要登載

一 所轄長ハ進出地ニ於テ不要ト認ムル被服物品アル
トキハ之ヲ最寄海軍軍需部ニ一時還納セシメ艦船部
隊内地歸還ノ際又ハ新ニ配屬セラレタル艦船部隊ニ
於テ交付ヲ受ケシムルコトヲ得

二 前號ニ依リ還納セシメタル被服物品ノ交換期限ニ

昭和十七年七月九日

七三八

付テハ經過年數ハ之ヲ通算セズ再交付ノトキヨリ起
算スルモノトス

三 還納セシムベキ被服物品ハ所持定數ニ應ジ最新、
最古、中古ノ順トシ再交付ノ際ハ最新ノモノヲ還納

セルモノニ對シテハ新品ヲ、其ノ他ノモノヲ還納セ
ルモノニ對シテハ再用古品ヲ充ヅルモノトス

四 本令ニ依リ還納セル被服物品ノ交付表記入ニ付テ
ハ一時還納ノ旨及前號ノ區分等ヲ朱書スルモノトス
五 所轄長ハ還納セシメタル被服物品ノ品名、數量、
下士官及兵ノ員數、還納軍需部及還納年月ヲ海軍大
臣ニ報告スルト共ニ所管ノ海軍軍需部長ニ通報スル
モノトス

○通牒

經監第三八號

昭和十七年七月七日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

戰利品ノ輸入取扱並ニ國內拂下ニ關スル
件通牒

首題ノ件ニ關シ今般大藏省主稅局長ト左記ノ通協定致

候

追テ第五號ニ依リ拂下ヲ爲シタルモノハ同局へ連絡
ヲ要スルニ付拂下ノ都度別紙様式ニ依リ戰利品國內
拂下通報二通ヲ調製シ送付ノコトニ取計相成度

記

一 戰利品ハ總テ關稅定率法ニ依リ輸入稅ヲ課セラル
ベキ物品以外ノモノトシテ取扱ヒ非課稅ト爲スコト
二 銃砲戰車等ノ兵器以外ノ戰利品ガ外國貿易船ニ依
リ輸入セラレタルトキハ海軍當該官ノ作製セル戰利
品タル證明書アル場合ニ限り前號ニ依リ非課稅ノ取
扱ヲ爲スト共ニ其ノ輸入手續ニ付テハ特ニ簡易ナル
取扱ヲ爲スコト

三 銃砲戰車等ノ兵器以外ノ戰利品ガ軍所屬ノ艦船ニ
依リ輸入セラレタルトキハ證明及輸入手續ヲ省略シ
差支ナキモ之ガ引取貨物ノ品名數量ハ別途適宜ノ方
法ヲ以テ稅關ニ連絡スルコト但シ軍以外ノ者ヲシテ
引取手續ヲ代行セシムル場合ニ於テハ海軍當該官ノ
作製セル軍ノ代理人タル證明書ヲ關稅稅關ニ提出セ
シムルコト

0596

入貨物ト同様ニ取扱フコト

五、戦利品中關稅、消費稅等ノ課稅品タル物品ヲ國內
ニ於テ拂下スル場合ニハ各稅込價格ニ依ルコト

(別紙添)

艦本機密第一號ノ七一七一

昭和十七年七月六日

海軍省軍務局長
海軍艦政本部總務長

關係各廳長殿

假稱零式時限信管艦船搭載ニ關スル件通知

當分ノ間首題信管ヲ附記彈種用トシテ艦船ニ搭載ノ上
實用ノコトニ定メラレ候

追テ本信管ノ取扱ハ九一式時限信管ト同様(但シ補
正ノ要ナシ)ナルモ大口徑砲彈丸用トシテノミ使用
スルモノニシテ之以外ノ彈丸ニ使用セバ信管毀損ス
ルコトアルニ付注意相成度

假稱零式時限信管
名稱
假稱零式時限信管
大口徑砲用零式通常彈

辭令

船舶海難事故處理委員會委員長ヲ命ス
海軍中將副島大助
海軍大佐有賀武夫
海軍少佐林彙通
海軍中佐吉田英三
海軍少佐佐藤祐生
海軍主計大佐岡保三
海軍少佐島津惣次
海軍主計中佐田中東洋男
海軍少佐中馬轍二
海軍少佐島田清
海軍法務中佐金井重男
海軍主計中佐林雄二

0597

海軍公報(部内限)第四百三十七號 昭和十七年七月九日

七三九

第二課勤務ヲ命ス(主印海軍省兵備局)

海軍公報（部内限）第四千三百三十七號 昭和十七年七月九日

七四〇

（各通） 海軍技手 小西 太造
同 内山 準次

第二臨時海軍設營班班員ヲ命ス（六月廿一日海軍施設本部）

○ 雜 款

○事務所撤去
沖島殘務整理事務所ハ七月五日撤去セリ

0598

(別
紙)

昭和年月日

(昭和十七年七月九日公報(部内限))

廳

名

海軍省經理局宛
戰利品國內拂下通報

品名	數量	單價	代價	拂下年月日	拂下先	記事

- 備考
 一、拂下先毎ニ別紙ニ調製スルコト
 二、記事欄ニハ拂下ダタル戰利品ノ元受訓令又ハ同認許番號ヲ記入スルコト
 三、單價算定ノ基礎ヲ別紙ニ記載シ添附スルコト

0599